

1 2-1 人 材 育 成

人 材 ・ 担 手 育 成 推 進 事 業

旭川市

○旭川市では、今後、主伐期を迎え事業量が増加する森林整備を効率的に推進するため、林業機械等の導入を支援をすることで、林業の担い手である事業者及び従事者の体制強化を図るとともに、安全性の向上などにより若年層が林業の担い手として活躍できる環境を整備するために森林環境譲与税を活用する方針。



ハーベスタ



移動式チップパー

旭川市の取組：

林業機械等の導入支援（旭川市林業担い手確保育成支援補助金）

事 業 内 容

林業機械の導入支援により、林業事業者の体制強化を図り、効率的な森林整備を促進するとともに、林業の担い手の確保・育成を支援。

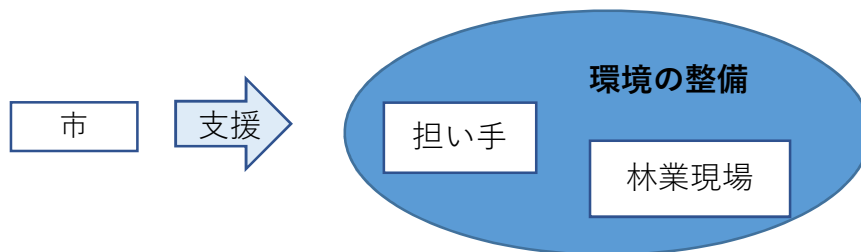
事業費

24,329千円（全額譲与税）

実績

林業事業体4者の体制を強化し、林業の現場の環境整備につながった。

スキーム



工夫・留意した点

○北海道立北の森づくり専門学院生のインターンシップ受入に協力することを交付要件とした。

その他の点

- 令和2年度は3件、令和3年度においては4件の高性能林業機械等の導入支援を実施。
- 令和4年度においては、更に、適切な森林の整備の推進や促進につながる支援を進めていくこととしている。

【問い合わせ先】 旭川市農政部農林整備課森林振興係／
☎0166-25-7459

森 林 経 営 管 理 推 進 事 業

根室市

○根室市では、森林経営計画の作成の促進と計画的な森林整備のほか、地域の関係者と連携を図りながら、新規就業者の確保や通年雇用化の促進、就業環境の改善など、林業就業者の安定確保に向けた取組を進める。また、市内における森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させ、適正な森林施業の実施や保全を確保するために、森林総合監理士登録者等の有資格者による地域林政アドバイザー制度の活用を図っていくことを基本方針としている。



根室市の取組：

森林経営管理推進業務委託

事業内容

1森林組合への業務委託

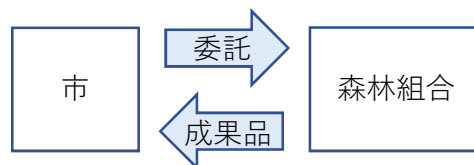
事業費

3,960千円（全額譲与税）

実績

森林経営計画実行管理や造林事業実施に関する技術支援（現地調査）など、地域林政アドバイザーならではの支援を得たなかで森林・林業行政を支援する体制の構築をすることができた。

スキーム



根室市の取組：

林業・木材産業人材育成支援協議会負担金

事業内容

北の森づくり専門学院生の就業支援など本道の林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援に取り組む。

実績

北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への賛助金を通して、北海道立北の森づくり専門学院生に対する就学支援や企業情報の提供等を行うなどして、林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援に取り組むことができた。

事業費

400千円（全額譲与税）

スキーム



工夫・留意した点

○森林経営計画実行管理や造林事業実施に関する技術支援（現地調査）など、地域林政アドバイザーならではの支援を得たなかで円滑な森林・林業行政支援する体制を構築することができた。

その他の

- 令和3年度においては、以下の取組を実施。
 - ・林政アドバイザー制度を活用し、林業行政の専門的な支援を得ながら、低迷する森林整備と併せて、根室市の森林・林業行政を支援する体制を構築した。
 - ・北の森づくり専門学院生の就学支援など本道の林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援をした。
 - ・担い手確保を推進するために、林業従事者の就労環境を安全で衛生的なものに改善を図り、安全意識の向上及び林業労働災害を抑制することを目的とした事業を対象に補助金を交付するなど行った。
 - ・林業従事者の就労の長期化・安定化を促進し、林業労働力を確保することを目的とする補助金を交付するなど行った。
- 令和4年度においては、更に林業従事者の就労環境を安全で衛生的なものに改善を図り、安全意識の向上及び林業労働災害を抑制することを目的として高性能林業機械の導入の検討や、安定した森林整備のためのエゾシカ対策として囲いわな事業を進めていくこととしている。

【問い合わせ先】 根室市水産経済部農林課／
☎0153-23-6111（内線2267）

Ⅰ 3-1 普 及 啓 発

実のなる木植栽事業・卒業記念植樹

別海町

○別海町では、町立公園において小学生を対象に、木や森の有難さを学ぶ「実のなる木植栽事業」と、小中学校の敷地において卒業対象生たち自らの手で植栽する「卒業記念植樹」を実施した。どちらも専門の講師（森林インストラクター）を招き、植樹指導や木育学習を実施することにより、児童生徒はもとより保護者及び教員への森林や自然環境などの興味関心を認識する貴重な機会を提供することができた。



実のなる木植栽事業



卒業記念植樹



木育学習の様子



植樹の様子



木育学習の様子

別海町の取組：

実のなる木植栽事業・卒業記念植樹

事業内容

○実のなる木植栽事業

- ・町内2公園に植樹した後、木育学習を実施
- ・対象児童58名、教員及び補助員等8名

○卒業記念植樹

- ・卒業対象生が記念植樹後、木育学習を実施
- ・小学校1校、対象児童19名
- ・中学校1校、対象生徒10名

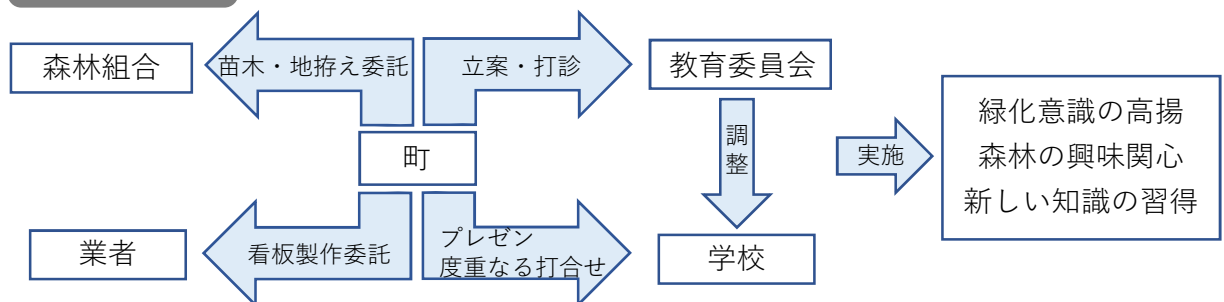
事業費

合計1,175千円（全額譲与税）

実績

- ・実のなる木植栽事業 千両梨ほか6樹種、計70本
- ・卒業記念植樹 エゾヤマザクラ大苗を各1本

スキーム



工夫・留意した点

- 実施にあたり、授業時間の確保や継続した植付箇所があるかなど学校サイドの理解が必要であることから、綿密な計画書を作成し、度重なる協議を行い実現することができた。
- 児童や生徒だけでなく教員も楽しく学べるよう工夫した結果、皆が笑顔で参加し、学校から新しい知識を得たなど、お礼状が届き、一定の結果が得られたものと考えられる。

その他

- この取組によって本町における林業という希少な職業に、将来の担い手となる選択肢の一端につながる事を期待するものである。

【問い合わせ先】 別海町水産みどり課／
☎0153-75-2111（内線1611）

1 4-1 木材利用・普及啓発

北日吉小学校屋内運動場床改修工事

函館市

○函館市では、公共工事において地元業者の活用および地元資材の優先的使用に努めており、公共施設における木材の利用促進を図っている。市が整備する公共建築物の木材については、可能な限り道南材の優先的な使用に努めている。



改修後の屋内運動場内部

函館市の取組：

公共施設における木材利用

事業内容

道南材を利用し、屋内運動場の床の全面改修。

事業費

44,550千円（うち譲与税13,395千円）

※譲与税は木工事費分に充当

実績

経年により老朽化した屋内運動場の床材について、教育環境の向上を図るため、令和3年度から、修繕が必要な屋内運動場の床材の改修を行っている。

木材使用量11.52m³ / 床面積640m²

スキーム



工夫・留意した点

○施工にあたり、地元業者を活用し、床材については地元資材活用のため、道南材を使用した。

その他の

- 令和3年度においては、以下の取組により、公共施設の木材利用促進を行った。
 - ・道南の木材を活用し、函館市立北日吉小学校の屋内運動場床改修を行った。
- 令和4年度においては、更に、函館市立本通小学校屋内運動場床改修工事を行うこととしている。

【問い合わせ先】 函館市教育委員会生涯学習部施設課／
☎0138-21-3540

1 4-2 木材利用・普及啓発

旭展望台周辺環境整備事業 森林環境整備事業

小樽市

○小樽市では、中心市街に近接した市有林内で、レクリエーション利用を活性化させ、森林の環境整備（施設の木質化等）を進めることで、広く市民へ森林の機能や効果を身近に感じてもらうことと、公園など市民が集う場所の遊具やベンチ等の更新を進めて公共施設の木質化を進め、合わせて地場材の普及啓発を行う方針。



遊歩道大型看板



木製ベンチ



地場材、森林環境譲与税
用途説明表示



アスレチック遊具

小樽市の取組：

公共施設の木質化と森林の公益的機能の普及啓発

事業内容

市民が森林をより身近に感じ、親しむ場として活用する機会を増やす旭展望台周辺の環境整備（遊歩道大型看板等）を実施。

事業費

2,720千円（全額譲与税）

実績

森林内の大型看板2箇所
の更新及び部材交換・ベンチ4箇所

スキーム



小樽市の取組：

アスレチック遊具・公園用野外卓の更新

事業内容

道産材を活用し、アスレチック遊具や公園用野外卓を更新することにより、木材利用を促進するとともに、説明プレートにより、目的など道産材の普及アピールを進める。

事業費

4,822千円（全額譲与税）

実績

アスレチック遊具3基、公園用木製野外卓製作

スキーム



工夫・留意した点

- カラマツ小径材を活用したオリジナルデザイン（看板）
- 基礎部分と表題は再利用し、設置コストを削減（看板）
- 腐食時における木材の交換のし易さを考慮、枠材のボルト取付（看板）
- 説明プレート（ベンチ等）
- 道南杉材使用（アスレチック遊具）

その他の

- 令和3年度の施設の木質化概要、令和4年度は、以下として進める予定。
 - ・令和3年度…大型看板2基、木製ベンチ4基、公園用木製野外卓3基、アスレチック遊具3基更新。
 - ・令和4年度…アスレチック遊具3基、遊歩道丸太階段38段更新予定。

【問い合わせ先】 小樽市産業港湾部主幹／
☎0134-32-4111（内線258）

1 4-3 木 材 利 用

公 共 施 設 等 の 木 材 利 用 事 業

留萌市

○留萌市では、道路利用者の快適性向上や、観光をはじめとした来訪者への適切な情報発信、さらには、親子や地域住民などがゆっくり過ごせるくつろぎの空間提供を目的として、令和2年度に「道の駅るもい」をオープンした。



道産CLTを使用した店舗

留萌市の取組：

道産材CLTを活用した市民の交流拠点

事業内容

市民や観光客が多く集う「チャレンジショップ」について、道産材CLTを使用した店舗を活用することで、道産材の普及啓発を図った。

事業費

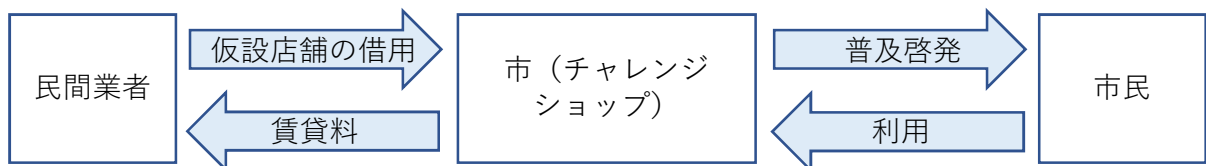
528千円（うち譲与税316千円）

※譲与税は、CLTを活用した仮設店舗物件の運営費用に充当

実績

木材使用量 3.24m³（1棟当たり）
CLT利用率 66%（1棟当たり）

スキーム



工夫・留意した点

- 木材を使用した店舗を活用することにより、落ち着きがあり、温かみのある空間となることから、市民の憩いの場として提供を行うことができた。
- 市民や観光客が多く集う場所で道産CLTを活用した店舗を運営することにより、高い普及啓発効果を狙うことができた。

その他の点

- 同施設の敷地内において、新たな販わいの交流、食の魅力発信、事業者や起業家が交流し新たな企業・創業にチャレンジすることで町の活性化を図ることを目的に「チャレンジショップ」として店舗を運営し、地元食材を使ったハンバーガーなどの軽食や、留萌管内のフルーツを使ったジェラートなどを販売している。
- 道産材CLTを活用した店舗を「チャレンジショップ」として4棟運営することで、留萌市民及び北海道内外の来訪者に対する林業の普及啓発を図った。

【問い合わせ先】 留萌市経済港湾課観光振興係
／☎0164-42-1840

Ⅰ 4-4 木 材 利 用

北見市地域材利用推進林業等振興対策事業

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



精密自動横切盤



グラップルソー付油圧ショベル

北見市の取組：

地域材利用推進事業の実施

事業内容

高性能林業機械、木材加工施設の整備、木質バイオマス利用施設等整備・地域材利用施設等の整備を行う事業者に対する助成を実施。

○補助率等

- ・補助対象経費の1/2以内（上限10,000千円）等
- ・高性能林業機械、木材加工施設の整備及び木質バイオマス利用施設等整備にあつては補助対象経費は100万円以上を対象。
- ・地域材活用建築物整備にあつては延べ床面積300㎡かつ地域材利用量が0.18m³/㎡以上であること。

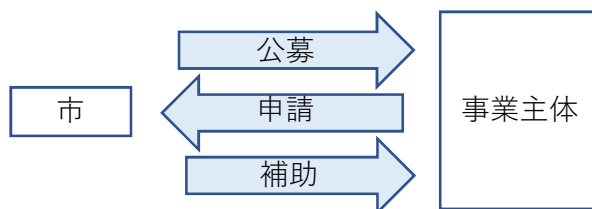
事業費

16,339千円（全額譲与税）

実績

木材加工施設用機械導入整備2件（精密自動横切盤、CNCルーター及びCAD）
林業機械導入整備2件（グラップル及びウィンチ付バックホウ、グラップルソー付油圧ショベル）

スキーム



工夫・留意した点

- 公平性の確保の観点から、公募方式とし、予算を上回る申請があっても予算の範囲内での按分とした。また、補助金交付後5年間は本事業の補助対象外とした。
- 事前評価と事後評価による事業実施の効果・検証を行う仕組みを導入。
- 条件により古品古材も事業対象とした。

その他の

- 令和3年度においては、以下の取組により、北見市地域材利用推進方針の効果的な取組みに向け、持続可能な森林整備の推進並びに地域材の安定供給及び利用促進を図ることを目的に、高性能林業機械の導入を支援（川上）するとともに、木材加工施設の整備、木質バイオマス・地域材利用施設等の整備（川中・川下）に対する支援を実施。
 - ・木材加工施設用機械整備2件、林業機械整備2件の助成を実施。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／
☎0157-25-1143

Ⅰ 4-5 木 材 利 用

森林整備地域材利用普及啓発事業

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



いす



贈呈品



リーフレット

北見市の取組：

子ども用いす製作キットの贈呈

事業内容

地域材トドマツ製の「子ども用いす製作キット」を、市内の乳幼児がいる家庭を対象に贈呈し、森林環境教育及び地域材の普及啓発を図る。

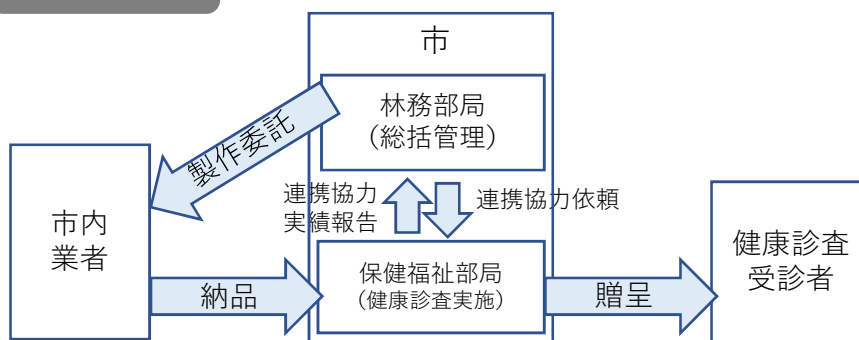
事業費

2,559千円（全額譲与税）

実績

1歳6か月児健康診査の受診者に、受診会場を訪れた際に贈呈
年間401セット

スキーム



工夫・留意した点

- 乳幼児健康診査事業を実施する部署の協力のもと、対象となる市民に漏れなく贈呈できるようにした。
- 製作キットを贈呈し、持ち帰り作ってもらうことで木に触れる機会を作ることにした。
- 木育活動と地域材や森林整備の重要性をPRするため、普及啓発資料を同封した。
- 地域の森林環境整備に繋がるように、発注にあたり地域材を活用することを条件とした。
- 乳幼児を対象に実施することで、子育て世代への普及啓発効果を期待。

その他の

- 令和3年度においては、地域材トドマツ製の「子ども用いす製作キット」を製作、合わせて地域材利用及び森林整備の重要性を普及啓発するためリーフレットを製作同封し、市内の1歳6か月児健康診査受診者に配布（贈呈）する事業を開始。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／
☎0157-25-1143